

一緒に減災活動しませんか？

まちかわ（まちの減災ナースチームかわさき）は、防災・減災活動を行っている自治体・学校・行政・団体を支援しています。

こんな不安に寄り添います

- ・災害時のトイレはどうする？
- ・避難所ではどんな感染症が発生するの？
- ・出血・骨折時に自宅でできることは？
- ・断水した時に手を洗うには？
- ・妊婦・乳幼児の家庭ではどんな備えが必要？
- ・持病がある場合はどんな準備が必要？

災害時のトイレ運営



あるものでの工夫運営



生肌パックで傷やスプーン
折傷でスリッパ作りなど



災害時における不安や暮らしている地域の特徴を踏まえ、看護の視点で対象者に合わせた減災研修や講座を行います。

妊婦・幼児からお年寄りまで、ニーズに合わせて企画します。

まずはお気軽にお問い合わせください。

ご寄付・ご協賛のお願い

私たちの今後の活動にご賛同いただける方々のご寄付・ご協賛をお願いしています。頂いた資金は団体運営費をはじめ啓蒙活動の資料や研修物品、イベント等での防災展示品などに使わせて頂きます。ひとりでも多くの方に減災の大切さを伝える活動に応援をよろしくお願いします。

お問い合わせ

講座・防災ワークショップ等のご依頼や寄付・協賛、また、まちかわ活動参加希望（看護師等の条件あり）は下記メール連絡をお願いいたします。

✉ gensains.team.kawasaki@gmail.com

メール本文に、お名前・所属・お問い合わせ内容を記載してお送りください。

まちの減災ナース チームかわさき
令和6年度 看護自主活動支援事業(川崎市看護協会)

まちの減災ナース



チームかわさき

まちかわのInstagram

「まちの減災ナースチームかわさき」通称「まちかわ」では防災・減災の知識を身につけた看護師が、平時に地域住民の自助・共同の意識向上をはかる減災活動で、有事への備えの啓発と地域住民と看護師を繋ぐ活動を行っています。

まちの減災ナースチームかわさき

ご挨拶

「避難所に看護師がいるだけで安心する」

避難所でこんな言葉をよく耳にします。

「こんな自分でも何かお役に立てることがあるかもしれない」

「看護師たちと市民をつなごう」との想いで2023年にチームを立ち上げました。自治体や学校、行政などの団体と連携・

協賛しながら看護職の専門知識や技術を用いた研修会や防災・

減災活動を行っています。

代表 上越麻美
日本災害看護学会認定 まちの減災ナース指導者



ナースの視点で考える

安全な環境と健康管理をサポート！

災害時には、様々な人が避難施設に密集した状態となります。また衛生環境の悪化により健康状態にも悪影響を及ぼすリスクが高まります。

感染対策や衛生管理など、看護の視点で考えた日頃からできる備えをお伝えしていきます。

被災地で災害支援活動経験のあるメンバーも在籍

房総半島台風15号	救護所立ち上げ
常陸市水害・熊本地震	避難所看護支援活動（神奈川県災害支援ナース）
能登半島地震	避難所看護支援活動（日本災害看護学会・JMAT）

所属メンバー

こんな資格を持ったメンバーがいます

看護師、保健師、助産師、ケアマネジャー、FP、防災士、日本抗加齢医学会認定指導者、終活アドバイザー、認定心理士、介護予防運動指導員、認知症ケア専門士、アロマセラピー検定1級、ホスピタル・クラウン、認知症ケア専門士、終末期ケア専門士、スポーツ医学検定、心電図検定、スポーツフードマイスター、川崎市看護協会災害ボランティアナース、災害支援ナース、愛知県防災地指導員、恵寿院保健相談士、厚労省JHEART、救急救命士、DMAT、DMAT-L、BLS、JCLS、JACLS、PALS、JPTEC、ISLS、JPTEC、NCLS、PEEC、救命技能認定証、看護教諭一級、第一種衛生管理者など

まちの減災ナースになるには

加入条件

- ・看護師の資格を有する方
- ・研修会等継続的に災害看護を学んでいる方

※加入時に指定の課題提出をお願いします。



ご興味のある方は「お問い合わせ」よりご連絡ください。

こんな活動をしています

災害時の
トイレ問題



カードを使った机上訓練



手洗いチェック



避難所や在宅避難で役立つ
看護の視点での研修



あるものでの応急処置



イベントでの啓発活動

他にも地域のニーズに合わせた講座や企画を行っています